

KPC の輪に入りませんか？

共栄火災には『挑戦』というフィールドがあります



KPC会長
KMライフ 小沼 茂文

KPC(共栄プロクラブ)は一定の基準をクリアした専業代理店等が加入することができる全国組織です。

このような組織は他の損害保険会社にもあると思いますが、KPCの大きな特徴は、自主的運営を基本としつつ、共栄火災とのパートナーシップという信頼関係で結ばれている点だと思っています。これは共栄火災の「共存同栄」という理念が色濃く反映されていると思っています。

KPC会員は、303店と決して多いとは言えませんが、共栄火災の専業代理店チャンネル収保の約85%を占め、文字通り中核代理店と言っても過言ではありません。

共栄火災の専業代理店と言われても、あまりイメージが湧いてこない代理店の方々も多いと思いますが、共栄火災の専業代理店に対する支援施策は、代理店経営から増収対策、お客様との

つながりの強化ツールなど多岐にわたり、他の損害保険会社と比較しても遜色のないラインナップとなっていると思います。これらの支援策はすべてKPC役員や会員へのヒアリングがおこなわれ、会員の希望やニーズをできるだけ反映したものとなっています。

KPCは各地域(支部)の代表から支部長(理事)が選出され、1年間の事業計画を策定するところから始まります。マーケットの現状やお客様とのつながりを深め、地域におけるトップクラスの専業代理店になるためには、規模だけでなく、経営品質を高めていくことも重要であり、このようなクリアすべき経営課題に対して必要と思われる研修プログラムなどが企画されます。また、地域によっては支店の協力を得て、独自の研修プログラムの実施や代理店見学会など、KPCという組織全体を高めていこうというパートナーシップが受け継がれています。

新しい時代を迎え、このKPCのつながりの輪を広げていくことが、専業代理店経営には必要であると感じています。自由化以後、代理店経営環境は激変し、その激流にとまどう仲間の代理店もいました。KPCは未来に向けて、挑戦する代理店の方々を歓迎いたします。そして共栄火災には、そのようなフィールドも用意されています。

是非とも、我々と一緒に新しい代理店経営を創り上げてみませんか？